



仏教保育

4
Apr.

伝えよう ^{いのち} 生命の尊さ ^{ほとけ} の心



平成27年度を迎えるにあたって

公益社団法人 日本仏教保育協会 理事長 緑谷 一雄

平成27年度がスタートしました。卒園・入園の送迎に気遣う慌ただしい季節ですが、「子ども・子育て支援新制度」の行方にも目が離せない年度になりそうです。第3次安倍内閣発足時の施政方針で、安倍首相は戦後以来の大改革の断行を打ち出しました。経済再生・社会保障はじめ、子どもたちの教育再生にも大きく踏み込み「子どもたち誰もが自信を持って学び成長できる環境を創るのはわれわれの責務である」として、子ども・子育て支援新制度という未曾有の大改革に踏み切りました。

新制度施行の功罪

平成24年8月「子ども・子育て支援新制度」の成立以来、子育て会議、基準検討部会等であるいろいろな対応が討・協議されてきました。その過程において、収入減が予想されるとして、多くの認定子ども園が認定を返上する動きが出てきたのは周知の通りです。子育て会議・基準検討部会では公定価格の改善策などを政府に提示し認定返上への対応策を打ち出してきましたが、歯止め効果は大して期待

できませんでした。政府は新制度施行目前の3月20日、子育て支援施策の更なる強化、若年齢層での結婚・出産の希望の実現など働き方の改革を盛り込んだ「少子化社会対策大綱」を閣議決定しました。

しかし、変わるのには子育て支援制度だけではありません。27年度は、暮らしに係る様々な制度も変わります。例えば、年金支給額の伸びを賃金の上昇より低く抑える「マクロ経済スライド」が初めて実施されます。子育て支援が強化される一方では年金の目減り、食品など家計の負担も大きくなります。ただ、子や孫への結婚、出産、育児費用の贈与が非課税になる制度も創設されるということですから、子どもたちの明るい未来のために、ここは「大事争うべし、些事構うべし」とも思う次第です。

3・11の惨事を活かす工夫

3月上旬(7日・8日)、O M E P日本委員会が福島県南相馬市において「保育フォーラム」を開催しました。地元の幼稚園や保育所の先生方が参加し、放

射能災害以降3年間の保育の実態、地域や家族、子どもたちの生活などの報告を基にグループ別に分かれて真剣な討議がなされました。宮城・福島の復旧については未だ途上にあつて、住民のご苦悩は続いているのとこのことです。

また、放射能被災地域の幼稚園・保育所が交渉を進めている電力会社との補償問題も遅々として進まず、苦しい対応を強いられているのが現状です。3・11の惨事は永劫、忘れ去ることはできません。帰らぬ犠牲者の霊を安んじるためにも、震災時への対応を私たちは肝に命じて取り組むべきであろうと心得ます。

「第34回全国仏教保育福島大会」に集おう

「第34回全国仏教保育福島大会」は、平成28年夏に開催されます。

福島は原発事故発生時には被災地域の私立幼稚園や保育所の在園児500人が入園を取り止めました。3年を経た今も、我が子の将来を案じて他県に住むご家族も受けて聞きます。そうした影響を受けて厳しい園運営

が続く状況の中で、仏保園13園が結束して「公益社団法人日本仏教保育協会福島支部」が昨年5月に結成されたことは各位も周知の通りです。

吉岡棟憲先生(福島県仏教保育協会会長)／日仏保福島支部長は厳しい現状の中で、スタッフの先生方と共に第34回全国仏教保育福島大会の準備を進めてくださっています。先生は、「地域に相応しい背丈に見合った大会にしたい」と、企画を立案されています。私どもも出来る限りのあと押しをさせて頂きたいと思っております。来夏は大勢の保育者が福島に集われることを乞い願う次第であります。併せて、皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

「仏教保育」が担う子どもたちの明るい未来に

慈悲と縁起に基づいた「生命尊重の保育」を推進する「仏教保育」の理念は変わることはありません。子どもたちの主たる担い手が私立の仏保園であることも永遠に不変です。手を携えて「ほとけの子」らを育ててまいります。 合 掌

「日本仏教保育協会賞受賞者」

(敬称略)

ご就職おめでとうございます!!

「日仏保協会賞」は、仏教系保育者養成機関において仏教保育者としての専門性を磨き、仏教保育者の道を目指す卒業生を称え、今後の保育実践の充実を期待して表彰するものです。

- 木浪志穂 (函館大谷短期大学・北海道)
 就職先 Ⅱ 学校法人 函館大谷学園 (北海道)
- 田中祐理 (札幌大谷大学短期大学部・北海道)
 就職先 Ⅱ 恵庭幼稚園 (北海道)
- 柳谷友里恵 (帯広大谷短期大学・北海道)
 就職先 Ⅱ 木野南保育園 (北海道)
- 渡辺望月 (聖和学園短期大学・宮城県)
 就職先 Ⅱ 中田幼稚園 (宮城県)
- 國永詩織 (足利短期大学・栃木県)
 就職先 Ⅱ 足利幼稚園 (栃木県)
- 橋本侑佳 (立正大学社会福祉学部・埼玉県)
 就職先 Ⅱ 建福寺幼稚園 (埼玉県)
- 牧野 薫 (聖徳大学・千葉県)
 就職先 Ⅱ 亀戸幼稚園 (東京都)
- 斎藤愛里 (聖徳大学短期大学部・千葉県)
 就職先 Ⅱ 篠崎若葉幼稚園 (東京都)
- 清水美季 (こども教育宝仙大学・東京都)
 就職先 Ⅱ 宝仙学園幼稚園 (東京都)
- 吉見悠奈 (聖徳大学幼児教育専門学校・東京都)
 就職先 Ⅱ 聖徳学園三田幼稚園 (東京都)
- 野村香織 (淑徳短期大学・東京都)
 就職先 Ⅱ じょうえん保育園 (埼玉県)
- 小山愛実 (駒沢女子短期大学・東京都)
 就職先 Ⅱ 清心幼稚園 (神奈川県)
- 小山紗希 (武蔵野大学・東京都)
 就職先 Ⅱ 清心幼稚園 (神奈川県)
- 中澤琴羽 (鶴見大学短期大学部・神奈川県)
 就職先 Ⅱ 光輪幼稚園 (神奈川県)
- 増田梨奈 (常葉学園短期大学・静岡県)
 就職先 Ⅱ 学校法人法城学園 (静岡県)
- 櫻木 舞 (愛知文教女子短期大学・愛知県)
 就職先 Ⅱ 剣正幼稚園 (愛知県)
-
- 木下奈々 (岐阜聖徳学園大学短期大学部・岐阜県)
 就職先 Ⅱ さゆり保育園 (岐阜県)
- 勝城亜弓 (高田短期大学・三重県)
 就職先 Ⅱ さくら幼稚園 (三重県)
- 川口久美子 (大谷大学短期大学部・京都府)
 就職先 Ⅱ 田上保育園 (滋賀県)
- 鈴木優奈 (京都文教短期大学・京都府)
 就職先 Ⅱ 松尾幼稚園 (京都府)
- 平林眞由子 (龍谷大学短期大学部・京都府)
 就職先 Ⅱ めぐみ保育園 (滋賀県)
- 吉田佳代 (京都西山短期大学・京都府)
 就職先 Ⅱ 妙林苑 (京都府)
- 烏頭尾香織 (京都女子大学・京都府)
 就職先 Ⅱ 西大寺幼稚園 (奈良県)
- 木下果奈美 (京都華頂大学・京都府)
 就職先 Ⅱ 松ヶ崎保育園 (京都府)
- 田舛奈央 (華頂短期大学・京都府)
 就職先 Ⅱ 七条幼稚園 (京都府)
- 乾 実加 (佛教大学・京都府)
 就職先 Ⅱ 西大寺保育園 (奈良県)
- 竹森 優 (四天王寺大学短期大学部・大阪府)
 就職先 Ⅱ 四天王寺非田院保育園 (大阪府)
- 丸山莉紗 (兵庫大学短期大学部・兵庫県)
 就職先 Ⅱ 認定こども園 西脇保育園 (兵庫県)
- 池田美咲 (筑紫女学院大学・福岡県)
 就職先 Ⅱ あかさかルンビニ園 (佐賀県)
- 西山明里 (筑紫女学院大学短期大学部・福岡県)
 就職先 Ⅱ 青竜保育園 (福岡県)
- 谷口由紀 (九州龍谷短期大学・佐賀県)
 就職先 Ⅱ 杉の子保育園 (鹿児島県)
- 西 美咲 (東九州短期大学・大分県)
 就職先 Ⅱ 認定こども園 東九州短期大学附属幼稚園 (大分県)



第5回 OMEP 保育フォーラム in 福島開催!

放射能災害下の保育実践4年目

テーマ

「放射能災害下の保育実践と

子どもの育ち

～地域・家族・子どもの今から考える～

平成27年3月7日(土)・8日(日)
【会場】社会福祉法人よつば保育園ホール(福島県南相馬市)

去る3月7日・8日の両日、OMEP 日本委員会による標記の保育フォーラムが福島県南相馬市で開催されました。昨年3月の開催から1年。あの放射能災害から4年目を迎える今、再び南相馬市での開催でした。

地域の現在の姿を目で見、肌で感じながら、放射能災害4年目の保育の実態と、地域や家族、子どもたちの生活、遊び等の役割について考察し、ディスカッションを通して参加者と共に子どもたちにとっての保育環境の在り方、今後必要と思われる支援などについて協議することを目的としたものです。開催挨拶のあと、はじめに OMEP 日本委員会から『アイルランド世界大会』の報告があり、続いて、地元南相馬市をはじめ近隣の保育関係者(青

葉幼稚園・安川園長、よつば保育園・高倉保育士、よつば保育園・近藤副園長らの各先生)から3年間における保育実践をはじめ、家庭や地域の現状などの話題が提供されました。

午後から3グループに分かれて、地域の保育園・幼稚園の先生方を囲んで、提供された話題を基に、これから必要と思われる支援等について白熱した討議が交わされました。

その日、農家の民宿に泊まった一行は、翌8日、「フィールド・ツアー」で各所を見学しました。「奇跡の一本松」や小高沿岸部、保育園など、文字通り目で見、肌で感じたツアーだったようです。二日間でしたが、放射能災害の惨(むご)さを体感した実りあるフォーラムだったと思います。

「第2回 仏教教育学研究会」開く!

テーマ

「ケアの現場で私たちに何ができるのか」

～臨床仏教師・臨床宗教師の

養成事業の現状と今後の展望～

平成27年3月26日(木) / 駒澤大学中央講堂(東京・世田谷区)

3月26日、日本仏教教育学会主催で標記の研究会が駒澤大学中央講堂を会場に開催されました。

東日本大震災を機に、人々の「心のケア」に対して宗教が果たす役割の大きさが改めて認識されたことは周知のとおりです。被災地や病院、福祉施設などで活躍できる専門家として「臨床仏教師」や「臨床宗教師」を養成しようとする新たな取り組みが始まっています。日本仏教教育学会ではこうした

現状報告、今後の展望等について研究をしています。今回は、パネリスト、コメンテーターを招き、質疑形式で一般公開として開かれたものです。

今回、パネリストを務められたのは、神 仁先生(臨床仏教研究所 上席研究員)と前田伸子先生(鶴見大学 副学長)

の二人です。コメンテーターには養輪顕量先生(東京大学大学院教授)が当たり、司会は矢島道彦先生(日本仏教教育学会会長、駒澤大学客員教授)が担当されました。

コメンテーターの養輪先生は仏教思想史、日本仏教の研究者として知られており、仏教の教理形式、法会における唱導と論議の研究などは高く評価されています。およそ3時間にわたる質疑が展開され、人間の情操に焦点を当てた教育、福祉の在り方や心のケアについて仏教界への提言など、熱のこもった質疑が展開されました。

因みに、臨床仏教研究所は、公益社団法人全国青少年教化協議会(会青協)に属する総合的な教育機関で、宗教者が果たすべき役割や公益性の高い寺院の活動についても探求しています。

「第 50 回 (平成 27 年度) 仏教保育研修会」開く!

平成 27 年 3 月 31 日 / 神田寺幼稚園

主催：東京仏教保育協会



開会式



三婦依文



友松先生



安藤委員長



小林先生



當麻先生



石上先生



緑谷理事長



司会
戸田先生



猪熊先生



司会
樋口先生



小俣先生



東京仏教保育協会(安藤文隆委員長)は3月31日、神田寺幼稚園(東京都千代田区)を会場に標記の研修会を開催しました。

この研修会は、都内の仏教園に就職した新任の教諭・保育士を対象に例年この時期に行われるもので、今回は50回目の開催となります。会場には80名近い新任が参加しました。

はじめに、安藤委員長の主唱で三婦依文が斉唱され、続いて同委員長より「早朝からご苦労様です。皆さんの正面の額に飾られている仏さまは弥勒菩薩様です。弥勒菩薩は仏教の二大原則である『慈悲の心』と『優しさの心』で衆生の世界を守ってくださっている仏様です。一日ではありますが、生きとし生けるものすべてが仏様の教えによつて生かされていることを学び、慈悲と優しさで子どもたちを導いて欲しいと思います。頑張ってください」と挨拶されました。

次いで、会場を提供して下さった神田寺幼稚園園長の友松浩志先生から「弥勒菩薩様は、どの宗派にも属さない仏様です。誰もが同じ仲間ということですので、きょうのご縁を大切にされ、知り合った先生たちと共に子どもたちに好かれる保育者になってください。弥勒菩薩様も、お喜びになられることでしよう」と歓迎の言葉を述べられました。

引き続き、(公社)日本仏教保育協会理事長の緑谷一雄先生からは「桜の花が満開の季節です。やがて椿が咲き、牡丹の花が開きます。桜は散ると言いますが、椿は落ちると言います。牡丹は崩れると言います。花にもいろいろ言い方があり、観方があります。先生というお仕事は『子どもを観る』ことだと思います。好天に恵まれて心地良い研修日となりました。明日からは、子どもたちから先生と呼ばれます。ワクワクしていることでしょうか。きょうのこの気持ちを大切に保育に当たってほしいと思います」と激励の言葉を述べられました。

最初の講義は、石上善應先生(淑徳短期大学学長)の「仏教のお話」。満月の日に釈尊は生まれ、悟り、亡くなったとされ

ています。この伝承から南方仏教徒は盛大な祭りを行います」と冒頭で言い、お釈迦様の険しく厳しい遍歴伝道者として歩んだ道を辿るお話でした。

続く講義は、小俣昌道先生(ふりすくーる西五反田園長)の「仏教保育のお話」。「桃太郎は犬・猿・雉を共に連れて鬼退治に行きます」から始まり、犬は正直、猿は智慧、雉は最後までやり抜く勇気を指す物語ですと述べてから、五戒、六波羅蜜など優しく説き、『乳幼児の教育・保育と仏教』や『生命尊重の保育』など映像を使って分かりやすく説いてくださいました。

午前の部の最後は、當麻祐紀先生(仰願寺幼稚園代表役員)の食作法のお話です。「ほとけ様に使える私たちは殺生してはいけない」と説いています。しかし、『本当に生きるために、今の食べ物や水をいただくには感謝いたします』と、食す前にこの食物で生かされていることに感謝してくださいと、話されました。因みに、當麻先生はこの5月からイタリアのミラノで開催される国際博覧会(万博)「テーマ・地球に食料を、生命にエネルギーを」に参加し、地球に住む100億人の食糧事業

等について研究・研鑽してこられるそうです。

◇ 午後は小林研介先生(吞龍幼稚園園長)の「良い保育者を語る」の講座です。幼稚園、保育所、認定こども園など施設はいろいろあるが、内容は大きく変わらぬ、というのが今の風潮のように思える。しかし、子どもは一人ひとり違っている。その子ならではの特性を活かし、伸ばすことが大切。そのためには「良い保育者になること」と冒頭述べ、そのための基本条件であるチックの設問等の資料を配布し、知識と技術についてはスライドを使って自園の子どもたちの園生活を見せながら、優しく説いてくださいました。

研修の最後は、猪熊弘子先生(ジャーナリスト、東京都大文学客員教授)による「子どもを預けるとはー保護者の視線を考えるー」という講座です。

猪熊先生は保育所・幼稚園で起きた事故などを中心に調査し、施設側の保育環境、被害者の家族など当事者に取材して事故の原因を探り、社会に問う仕事をしておられるそうです。多くの事例を語られました。その事故のほとんどが、起こるべくして起きた事故だったと言います。その背景には現代の子育て事情や保護者同士が抱える問題、クレームが起きる原因など詳細に述べられました。



◇ このあとの閉講式で安藤委員長から受講生代表に受講証の授与、閉会の言葉で研修会を終りました。

◇ 最後は先生は、高層ビルの清掃(窓ふきなど)する人の言葉を引用されました。「初心者は、ミスを起こさない・事故を起こさない・毎回怖がる」。受講生は「初心の心を大切にしよう」と感じたようです。

ご存知でしたか? 嘔吐物・汚物は、悪臭だけでなく、ウイルス・細菌を含む場合があります。処理する際は…

迅速かつ安全に行う必要があります。

⚠ 感染性胃腸炎では、嘔吐物・汚物の適切な処理が重要

お困りではありませんか? 誰もが嫌がる、嘔吐物・汚物

安全に 清潔に 嘔吐物・汚物かんたんスピード処理剤

素早く 快適に **オブツポイポイ**が **解決!**

汚れた → 使う → 回める

高品質二酸化塩素の効果で 消臭・除菌・凝固させます!

高機能殺菌剤とゼオライトにより、悪臭・細菌を、後処理が非常に簡単!

二酸化塩素殺菌剤により、ウイルス・細菌を瞬時に除去し、消臭も同時に!

セット価格 ¥1,050 (税別) (税別) (送料別)

東京都中小企業振興公社ニューマーケット関係支援事業協賛品(24124号) 消費税込で利用

お問い合せ先 株式会社 共生 東京都足立区吉千本町2-12-18 Tel:03-3855-8781 e-mail: adachi-k@arton.ocn.ne.jp (得意先宛)

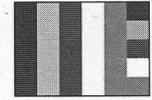
すべては、子どもたちのために。

地域特有の個性と文化を育み、
保育環境の未来を提案する。
それが、私たちの仕事です。

株式会社 ジャクエツ
www.jakuetsu.co.jp



ZENBUTSU
金・仏だより



無料税務相談室を開設します!

4月から毎月1回開設

宗団法人をとりまく環境は大きく変化しております。会計や税務・法令等の運営に関するルールをよく知り、実践を行う必要があります。昨今の税務署等からのお尋ね文書や税務調査件数の増加など、宗団法人に対する監視の目も強くなってきております。そこで、各ご寺院が抱える税務や会計の課題、疑問などに対応するため、本会では下記のとおり4月より毎月1回、無料相談窓口を開設します。

- 開設日 原則として毎月第2金曜日 午後1時から午後5時 (原則一人30分)
- 相談場所 全日本仏教会 事務総局 (内容によっては電話対応となります)
- 申込方法 本会ホームページから申込シートをダウンロードしてFAXでお申込み下さい。(詳細は本会ホームページをご覧ください。http://www.jbf.ne.jp)
- 担当税理士 朝日税理士法人 (木村 匡成、高尾 英一、松山 浩也)
 - ※相談内容は、法人や個人の情報として差し支えない範囲で構いません。
 - ※相談内容は、本会及び担当税理士の中で厳格に共有・管理します。
 - ※相談項目を本会として内容を集計することがあります。ご了承下さい。

朝日税理士法人

クライアントの特性を常に考慮し、顧客ニーズを捉えた税務業務を手掛けている。宗団法人の会計・税務業務では、宗教界の特殊性に鑑み税務調査対応を含め、顧客志向と適正化などをバランスした総合的な視点としてのサービスを提供している。尚、国内に10 (東京、札幌、仙台、高崎、横浜、長野、名古屋、大阪、岡山、福岡) のグループ法人を有している。

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-4 <http://www.asahitax.jp>



木村 匡成
(きむら まさなり)

朝日税理士法人
パートナー／公認会計士・税理士

【主な役職】

公益財団法人全日本仏教会総務財政審議会委員、公益財団法人日本宗教連盟監事、公益財団法人国際仏教興隆協会監事、公益社団法人全日本仏教婦人連盟監事、公益財団法人禅文化研究所監事 他



高尾 英一
(たかお えいいち)
朝日税理士法人
マネージャー
税理士



松山 浩也
(まつやま ひろや)
朝日税理士法人
サブマネージャー
公認会計士



公益財団法人
全日本仏教会
WFB (世界仏教徒連盟) 日本センター

〒105-0011
東京都港区芝公園4-7-4 明照会館2F
電話 03-3437-9275 FAX 03-3437-3260
<http://www.jbf.ne.jp/>

事務局日誌

- 3 / 4 「仏教保育」「仏カリ」編集会議
- 事務局会議
- 3 / 17 「ほとけの子」編集会議

「3歳の壁」

子ども・子育て支援の新制度が「Go!」されました。これから何かが変わっていくのでしょうか？ その何かが期待できることなのでしょうか？

新制度施行に伴い、待機児童対策のための0～2歳児に向けた保育施設が増えています。地域によつては「待機児童ゼロ達成」と気炎をあげ、更なる増加を見込んで認可保育所の誘致を進めるなど、待機児童対策の継続と様々な子育て支援のための施設に取り組んでいる自治体も多く出てきたようです。

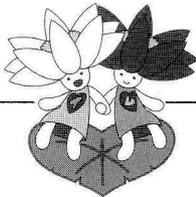
他方、保育園探しの保護者の間で「3歳児の壁」という言葉がささやかれていると聞きます。0～2歳児向けの保育施設が増えた結果、3歳児以降の子どもを持つ保護者は預け先に苦労しているというのです。低年齢児向けの保育施設が増えると、3歳児以降の受け皿問題が更に深刻化していくということです。大都市近郊では私立幼稚園に働きかけて受け皿づくりを進める自治体も始めています。認可保育所を作る財源にも限度がありますから、保育所並みの開所時間で子どもを預かる私立幼稚園に対して助成をするということですね。

子ども・子育て支援新制度では、小規模保育施設を運営する事業者に対しても3歳児以降の預け先となる連携施設を確保することを求めています。「働く家庭の支援にもなるし、長い目で見れば園児を確保できるメリットもある」との幼稚園側の声もあるようです。

編集後記

■今年も春が巡ってきました。幼稚園・保育所では、送り出す寂しさと迎える楽しさを味わう「別れと出会い」が交錯する季節です。新しく迎える仲間たちには、みんなで仲良く楽しく遊び、そして大きく巣立って行って欲しいと願う4月でもあります。■陰暦では4月を「卯月」と言います。十二支の4番目が「卯」にあたるからなど、いくつかの説がありますが、卯の花が咲く季節なので「卯の花月」を略したとする説が有力のようです。この「卯の花」とは、垣根代わりの境界線に咲く白い花を咲かせるウツギ（卯木）のことです。食べる「おから」ではないので、念のため子どもの声が騒音だと、各地で問題になっています。東京都の「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例」では、住宅地における日中の音量規制基準を40～45デシベル（時間によって異なる）と定めています。子どもが駆け足する時とか歌声については50～66デシベルと示しています。しかし、幼稚園や保育所では、この基準値を超えることはあるでしょう。病人や午睡中の高齢者には迷惑な騒音かも知れませんが、そこは？ ■子ども・子育て支援新制度でも踏み込めない「子どもの騒音」。どうです！近隣の大人たちも一緒に大声を張り上げてみては？健康的で良いと思いますけど。（O・I）

公益社団法人 日本仏教保育協会
〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4
ホームページ <http://www.buppo.com/>
電話 03(3431)7475・FAX03(3431)1519
発行人 緑谷一雄 編集人 五島 満
毎月1回1日発行(1部315円)



仏教保育綱領

- 慈心不殺 生命尊重の保育を行なおう
- 仏道成就 正しきを見て絶えず進む保育を行なおう
- 正業精進 よき社会人をつくる保育を行なおう

紙芝居 おしやかさま 全4巻

○おたんじょう(12場面) ○四つの門(13場面) ○おさとり(16場面) ○ねはん(12場面)

セット定価 本体¥20,000 (8%税込¥21,600) ※分売不可

脚本・絵／諸橋精光 画面38.2×26.5cm 豪華化粧箱入り

保育現場や布教活動の場で幅広くご利用いただけるよう、おしやかさまのご生涯を4巻に分け、幼い子どもでも集中力を保てる適度な場面数で仕立てました。



ご注文
お問い合わせ

すずき出版